

2018年9月12日
株式会社パスコ

(報道資料)

人工衛星と航空機で被災状況を把握 災害緊急撮影(平成30年北海道胆振東部地震)

株式会社パスコ(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:島村 秀樹、以下パスコ)は、「平成30年北海道胆振東部地震」について、被災状況の的確な把握と今後の対策・対応を検討される関係各団体への情報提供の観点から、パスコが保有する空間情報の収集技術を用い、災害緊急撮影を実施しました。

人工衛星(地球観測衛星)による緊急撮影(観測)では、広範囲における被災状況を把握できるとともに、航空写真ではより詳細な状況が確認できます。

【光学衛星の観測成果】



北海道勇払郡厚真町を中心に(南北約50×東西約70kmを切り出したもの)

9月11日午前撮影(SPOT 6/Pléiades)

※画像中心枠内がPléiades(50cm分解能)、その他はSPOT 6(1.5m分解能)

